

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 帝王切開術中における携帯型硬度計を用いた子宮収縮の客観的評価に関する後方視的研究
	●研究の対象 2022 年 4 月～2024 年 1 月の間に当院で帝王切開手術を受け、その際に臨床研究（研究課題名「帝王切開術の分娩後出血予防におけるオキシトシン子宮筋注と持続静注の子宮収縮維持効果を比較する前向き研究」）にご協力いただいた方
	●研究の目的 帝王切開術中に、携帯型硬度計を用いて子宮の硬さを測定したデータを分析し、子宮収縮が十分かどうかを客観的に判別できる基準値を明らかにすることを目的とします。これにより、周産期出血のリスク管理の改善に役立つことが期待されます。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2026 年 3 月末まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、既往歴、合併症、経妊数、経産数、妊娠週数、帝王切開回数、身長、体重、BMI、子宮収縮評価（PEK-MP 測定値、触診法）、子宮マッサージ回数、オキシトシンおよびその他の子宮収縮薬投与の有無、子宮収縮薬投与量、出血量、有害事象
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 成瀬智

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。希望されない場合は、開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 部署名： 周産母子センター 担当者： 成瀬智 TEL： 053-435-2111